

一般会計予算

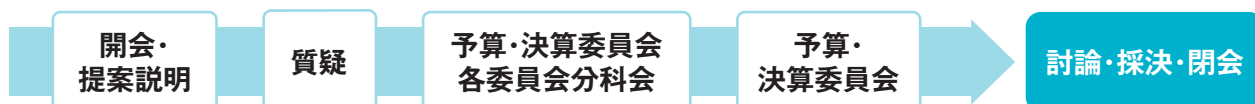


予算の詳細は
「広報ちりゅう」参照

一般会計は市民の日常的なサービス(道路や福祉、教育など)を実施するための予算です。

令和7年度は273億3,800万円(前年度比3.0%増)と過去最大規模です。市税収入の増加や国・県からの交付金を見込み、小中学校体育館エアコン設置などに重点配分します。議会では議員が市民の代表として、予算の使い道が適切か検証・討論し、最終決定を行います。3月定例会で可決後、4月から新年度事業が始まります。

予算審議の流れ



気になる質疑を **pick up!**

太陽光発電設備・体育館空調設備設置事業

熱中症対策や指定避難所の冷暖房の確保を目的に、学校体育館へ空調設備を設置し、災害時には太陽光発電で得た電力を蓄電池に蓄えることで、停電時でも照明や通信手段への充電等ができるように整備する。



Q 災害時の停電下でも冷暖房を利用できる仕組みの導入と、全小中学校の体育館への空調設備設置はいつごろまでに完了予定か？

A 非常時でも燃料供給が途絶えにくいガス式エアコンを採用し、さらに太陽光発電と蓄電池を組み合わせることで、停電中でも空調の起動や運転に必要な電力を確保できる。これにより、災害時でも一定時間、体育館内で冷暖房の利用が可能となる。また、市内すべての小中学校の体育館への空調設備の設置は、令和7年12月までの完了予定。

子育て世帯訪問支援委託事業

支援児童のいる家庭やヤングケアラーの家庭などを対象に、支援スタッフが自宅を訪問し、家事や育児(授乳・沐浴など)を手伝いながら状況を把握し、必要な支援へとつなげる取り組み。



Q 事業の目的と具体的なサポート内容はどう想定しているか？

A 児童相談センターや警察、保健センターなどが選定した対象家庭に対し、訪問支援員が1世帯あたり月8回を上限に3~6か月程度訪問し、虐待リスクや育児の困難を早期に把握して必要なサポートにつなげることが目的である。また、初回訪問などの段階では市の職員が同行し、支援員との連携を密に取りながら安全管理と情報共有を徹底する。

解説

ヤングケアラーとは？

家族の介護や世話を担う子ども・若者を指す。大人並みの責任を背負うため、学業や友人関係に支障が出ることも少なくなく、周囲が早期に気づき、社会全体で支援体制を整えることが重要である。

知立駅周辺土地区画整理事業

住む人も訪れる人も利用しやすく魅力的な市街地を形成するため、知立駅周辺の道路や公園などの都市基盤を整備する。



Q 令和7年3月6日付で若手団体連名の要望書が市長・議長宛に提出されましたが、市の対応方針は？

A 要望書にある「広場の面積確保」や「ロータリー計画の情報公開」については、既に関係機関・部署との協議を重ねているところであり、今後は市民や若手団体の声を更に丁寧に取り入れ、駅前広場を地域の賑わいを生む空間として活用できるよう検討する。

不登校対応オンライン学習支援実施事業

登校やひきこもりに悩む生徒を誰一人取り残さないために、メタバース(仮想空間)を活用した学習支援や交流を導入する。



Q どのように進め、どのような効果を期待しているのでしょうか？

A 知立市では小学生80名・中学生130名が不登校で、そのうち約10名はひきこもりが原因で登校が難しい状況にある。既存の担任やスクールカウンセラーの支援に加え、メタバースを活用して生徒同士のコミュニケーションを促すことで、社会性や学習意欲を高め、円滑な復学や次の進路につなげる方針である。

解説

メタバースとは？

インターネット上に構築された仮想空間で、自分の分身を通して移動やコミュニケーションを行える。現実では再現が難しい建物やシーンをつくることも可能で、教育やビジネスなどさまざまな領域への応用が期待されている。

各会派からのコメント

篤心会

本予算は、好調な歳入を活かし物価高対策、少子高齢化対策、都市基盤整備など、バランスの取れた配分がなされている点を評価しました。特に、市税歳入が市民生活の向上へ適切に還元されているかを重視しました。今後も自分らしさをかなえるまちづくりを推進し、市民、議会、行政が一体となって活気ある知立を築きましょう！

池鯉鮒クラブ

令和7年度の当初予算は、第7次総合計画の初年度。物価高対策、少子高齢化対策、大型事業の進展、公共施設の長寿命化計画などに配慮され、しばらくは歳出増が続きますが「輝くまちみんなの知立」の実現に向けバランスの取れた配分がなされている点を評価し賛成とします。

日本共産党知立市議団

令和7年度一般会計予算は、学校施設への太陽光発電設備、蓄電池、体育館へのエアコン設置等は評価できます。しかし、過去最高の収入を見込みながら、請願可決された学校給食費無償化は見送られ、昨年に続く国保税の引上げ、地球温暖化対策の遅れなど、市民要求、重要課題に対応する内容になっていないので反対します。

公明党

令和7年度当初予算は、第7次知立市総合計画の初年度として「輝くまちみんなの知立」の実現に向けた物価高騰対策、福祉・子育て支援の充実、教育環境の向上、防災減災対策など、市民生活を支える施策が盛り込まれ、我が会派が要望した帯状疱疹の定期接種・任意接種の予算化も実現。未来を見据えた予算として賛成しました。

民友クラブ

令和7年度の当初予算案は、第7次知立市総合計画の初年度となる大変重要な位置づけの予算です。第7次総合計画では、『「輝くまちみんなの知立」にぎわう・つながる・自分らしさをかなえるまち』の実現に向け、喫緊の課題を始め、将来への投資等、財政状況を見据えながら編成された予算案であると判断し賛成いたします。

正和会

令和7年度は第7次知立市総合計画の初年度。今後の方向性を見極めた財政の運営が求められる。大型事業の進展、公共施設の長寿命化計画推進等しばらく大きな歳出が続く中ではあるが財政バランスは適正であり予算について賛成する。中心市街地へのオフィス系事業所の誘致、昼間人口増に向けてはあと一歩の推進策を。

無会派

第7次総合計画の初年度として、教育・福祉に注力しながら増収を原資に医療費無償化の拡大など幅広い世代への再分配を意識しており、構造的にもポジティブです。加えて、自主財源を確保しながら市債の抑制を図る点は、財政リスクを最小化しつつ将来的な成長余地を保つ合理的な戦略と評価できます。